

## 正月(一月)睦月

「明けましておめでとうございます」

現在は新暦一月一日の朝にご挨拶いたします。

おめでとう、おめでたいは「芽出たい」とも書き、年が明けて新しい芽が出ることを喜び祝す言葉です。旧暦では冬が終り春の命が芽吹く「新春」二月四日頃が正月で、そちらの気候のほうがこの言葉にふさわしいのですが・・・

元旦には年神さまが各家庭にお越しくださいます。

私たちは鏡餅をお供えし、その土地、その家庭の心ばかりのごちそうを準備してお迎えします。

では何故お供えとは鏡餅なのでしょう。

餅は稲の霊が宿り、人間に生命を与えてくれるもので、また鏡は神さまが宿るところを象徴しています。だからお年玉ももともとは年神さまの魂が宿ったお餅を「年魂」としていただいたものです。

その鏡餅でお雑煮を作って神さまと家族と一緒に食し、昨年の実りと平穏に感謝し、新しい年の豊かな実りと家内の健康と安心を願います。

植物として、松、千両、柳 などです。

(村島)

